生産者サポ

が訪れた。今年は新型コ年に比べ2割増の観光客

たこともあり、

昨年は例

影響で観光客が2割減。

ロナウイルス感染拡大の

エゾ鹿肉を販売していた

地を利用し、観線」の陸別駅跡

特産品販売のほ 光・物産館での

主力商品の一つ「鹿カレー」

きますプロジェクト」の

だ。世界自然遺産の指定

「よんなな応援バコbお

するため「#元気いただ

なり売上げは2~3割減

した。この苦境を打破

秋田音頭にもうたわれる

ハタハタが町のシンボル

川と自然に恵まれ、

イベントも軒並み中止と

峰町に位置する。海、山、

田県日本海側最北端の見道の駅はちもりは、私

うちで道の駅!」

へ参加

を決めた。8月中旬から

#### #元気いただきますプロジェクトNEWS

#### ニッポンを元気にする取組みが全国で広がっています

インターネット販売推進事業

たロケ地だっ

つなど

通じた供給が難しい。その果物であるため年間を インターネット販売推進事業

点が大きな特徴だ。豊田多様な品種を扱っている十世紀、あきづきなど、 豊田梨。幸水、 の農村集落をイメージー 旬を迎え、来店者数が最 梨は8~9月に本格的な 供、地域観光情報の発信 たもの。天然温泉、レス 園風景を基調に昔ながら にも努める。 トランなど憩いの場を提 して知られる豊田町の田 豊田町自慢の農産物が 駅舎はホタルの里と 豊水、

響もあり、客足の増加ペ期。今年はコロナ禍の影 も多くなるのもこの時 プロジェクトに手応え

地域と人々をつな 来年の販売シーズ 取り組んだ。大き ップを検討中。 品のブラッシュア り同品は完売に。 なヒットにつなが いでくれる存在。 旬の野菜や果物 農林水産物は、 現在商

ースは緩やかに推移

指す。
(大屋良太)物を供給できる環境を目 だ。結果として、生産者模索していきたい考え 践を重ねながら方向性を て継続する。同時に新た 駅内で「買いやすい売場 な販路開拓について、 施」などの基本を徹底し が安心して長く農林水産 づくり」「生産者と連携 した販促イベントの実

部の主要県道下関長門線山口県下関市豊田町中心道の駅蛍街道西ノ市は 体は豊田ふるさとセンタ 沿線に位置する。運営主

こで同道の駅では、

発は、若手女性社 テラ、ワインといったも 販売する。例えば、 員が中心となって ジナル加工食品を開発し 梨の果汁を使用したオリ て楽しむ果物だとし、 のがある。またナシは味 ズケーキやゼリ こを炭酸の飲み口でカバ にけでなく、食感も含め した商品としてナシサ を考案。開 チー

> 中で、 の送料を支援する「イン プロジェクト」の中の え「#元気いただきます 業。別の販路を検討する インターネット販売 つの可能性と考 販売推進事 としている。和牛、ジビ

コロナ禍による店の休

らえたことに驚かされた のお客さまに購入しても 月弱という短期間に多く

そんな中、訪れたのが

だと考えている。

する。それが大きな役割

生産者の収入確保に貢献

し販売する。結果的に

収穫として挙げる。

大切さを実感できた点も 連の流れを担う人材」

んなな応援バコキャンペ

なる許田は近くに、沖縄縄自動車高速道の終点と

地区に位置している。沖し、北部観光の要となる

部の拠点、名護市に位置

ン」に関しては、

がある。商品の魅力を訴 本憲嗣駅長)とい があるからこそ、豊田町

を感じている。またEC

(電子商取引)において、 「集客から販売までの

対しては、

一定の手応え

プロジェクトでの活動に業」への参加を決めた。

に人が来てくれる」

ナ禍で『#元気いただき た」といった声が上がっ 標が達成できた。 ったからこそ、月生産目 ますプロジェクト』があ エと生産者からは「コロ 助かっ

今後については、まず 設が軒を連ねる。休日は 状態が終日続いている。 駐車場は常時、ほぼ満車 もちろん、それ以外でも いただきますプロジェク 今回参加した、#元気

なな応援バコ」では希少 トの取組みの一つ「よん

インターネット販売推進事業

### まごう これによくに、沖縄 地元農家との取組み強く

客数を誇っている。

自社店舗では見応えの

プクラスの売上げ、

来店

価格で提供した。その結

-ズナブ

地元民だけでなく観

地方の

ある道の駅の中で、トッ を得て、沖縄県に9ヵ所 在している。その地の利 などの人気観光施設が点

は食べ応えのある飲食施 ある農産物、テナントで

から8月一杯。

道の駅 許田

バレル(パイン) かに、ゴールド のマンゴーのほ もあり、 やスナック る。直近ではこ れる商品でもあ スを失うケース 完売さ



沖縄県北部の観光拠点、 道の駅許田 中でも根付いたメニュー 「もずく天」が各家庭の

すプロジェクトの取組み 漁業者への応援を行って モズクを使用した持ち帰 だが、名産、伊平屋島産 水産物の貴重な資源を地 では、沖縄の持つ農産物、 り商品を販売し、モズク いる。 #元気いただきま に対しても新鮮な沖縄産

## 道の駅許田は沖縄県北 る農産物

金良宗貴駅長

気が高い。特に、マンゴー は高価格帯に位置する 贈り物として人 より糖度が とも る。 甘みのカーブチ は柑橘類の掛け合わる に人気の高い商材であ ノが中心となる。

や酸味好きにはたまらな に取り揃えている。 ぱり爽やか風味のタルガ よって、爽やかな香りと これら果物は沖縄北部 これから秋季ではミカ ミカンなど種類豊富 ミカン、さっ ーミカン 各農家

常のマンゴ

幻のマンゴー

ラを使った冷菓、 えが特徴となっている。 活用したシュークリ カリッと焼き上がり、 ンは人気商品で、 そのほか、

り、しっとりとした歯応の中にバター風味が広が 区で収穫された産物をフ 冷菓などいずれも近隣地 社おっぱ乳業の乳製品を ム、本部町特産のアセロ 水産物では沖縄では その屋我地の塩パ している。 地元乳業会 パイン

> あなたのひとくちが、 ニッポンを元気にする。

元で有名な屋我地の塩を

な果物の野菜を並べる。

直営のパン工房では地

ている。開店前に、直接

農家との取組みを強くし

農家が納品してきた新鮮

#元気いただきますプロジェクトは、 新型コロナウイルス感染症の影響で 行き先を失っている 「国産食材」を 食べて応援しよう!というプロジェクトです。

を担っている。 通じた生産者支援の役割 め合わせを出品したとこ 日)に陸別産エゾ鹿肉詰 駅!」(8月12日~ 援バコbおうちで道の トショップ「よんなな応 すプロジェクト」で実施 う。「#元気いただきま主力商品として取り扱 レ)や「鹿カレー」などを 凍エゾ鹿肉 用を目的に商品化し 町内産エゾ鹿肉の有効活 町の観光拠点としてさま 99りくべつは、日本一道の駅オーロラタウ つは、流通・販路拡大を で人気を博した。道の駅 ろ、例年以上の売れ行き る。観光・物産館では、 さまな情報を発信してい したキャンペーンのネッ 町で有名な北海道陸別 ーロラタウン93りくべ (ロース、ヒ 日本一寒 した冷

エゾ鹿肉と鉄道で町興し

備もあり、 るエゾ鹿肉商品は、町内 2階には宿泊設 寛斎(陸別町の 車体験も行って 運営会社りくべつが購入 の処理業者から物産館の 割を果たす。 販売してい 町の観光拠点としての役 開拓者)資料館、 河線の運転・乗 か、ふるさと銀 いる。 して商品化したもの。生

りやすいため、

新型コロ

は外部からの情報が集ま

道の

陸別

産者と消費者をつなぐ役 なげる取組みを紹介する 道の駅オーロラタウン93りくべ つは陸別町の情報拠点でもある

能する。 ら」を撮影 ビ小説なつぞ 組「連続ア 地域だが、N 活動が盛んな ゾ鹿肉の消費 海道内でもエ 窓口として機 HKのTV番 陸別町は北

ていく考え。 PRと生産者支援を進め 品にしたことで遠方のお を取りながら在庫を抱え とで、陸別産エゾ鹿肉の 性を感じた」と語る。 ンターネット戦略の重要く、コロナ禍におけるイ 客さまからの注文が多

生産者と密に連絡

の谷口和華子マネージャ 93りくべつの運営会社、 りくべつ物産開発事業部 の兆しを見せている。 よんなな応援バコ対象商 ーは「陸別のエゾ鹿肉を め、道の駅利用者も回復 は徐々に観光客が戻り始 道の駅オーロラタウン る。

者に対し、消費拡大につ 響で売り先を失った生産 ナウイルス感染拡大の影

マダイ、アンコウなど季サバ、岩ガキ、アリビ、アハタはもちろん、マグロ、 手に入る。地元商工会議 節の魚介類や枝豆、キノ 食材を利用しアワビを目 所からの紹介で、 コなどさまざまな食材が 八峰町では名物の

来だ。地元天然素材にと れる湧水が出る。昔、津発する"お殿水"と呼ば のメニューに加え、 だわるハタハタ天丼など 地品加工開発にも注力す 露」とほめたのがその由 中にかごを止め、道端の 軽の殿様が参勤交代の途 を受けた白神山地に源を 清水を飲んで「甘露、

地産地品開発へ注力

道の駅 はちもり

セットも売れ ける工夫をし をそのまま届 て海水を使用 っていたが4 し、おいしさ 一当初 と思

きを隠せな 到した」と驚 の注文が殺 0セット

発信の場として情報が持ち込まれるく、地元の人たちへの地産地食材のキャンプ・登山客が訪れるだけでな 道の駅はちもりは、 お殿水を求めて

産品を知ってもらうこと

地元を潤すことにつ

(江端哲也)

と加工や保存法を工夫し

廃棄しかなかった。仲間

柄で、

地元の

閉鎖的な土地

農家や漁師は

インターネット販売推進事業



代表に持ち込まれる。従 食材の新しい情報が小林 工夫をしている。 者の連絡先を貼り付け て、顧客拡大につながる し農家や漁師から地産地 同プロジェクトを通じ 地元で消費しないと

れる。人気メニュー との県境に近い国道ー 元名産のハタハタを使っ ンプ・登山客が給水に訪 離トラックの休憩やキャ 道の駅はちもりは青森 にあり、 長距 産地でお

クトの取組みの一つ「よ気いただきますプロジェ

・セット」

0円) を#元

1号線沿

た「海鮮

多い」という。

思ったが「お礼の連絡が 苦情ではないかと不安に

喜んでもらえるのかと懐 疑的で電話が鳴るたびに

トで食材を提供して、

なな応援バコ」

-ンで提案した。

駆り立てられた。 ないか」という気持ちに 発送する加工品には生産

ったフグ唐揚げ丼。地元フグといわれる、地元でフグといわれる、地元でたハタハタ天丼、北限の 棄される商品を見ていて 技術が確立しておらず廃い、加工法や最新の冷凍 に耳を傾けることで、 駅でさまざまな客の要望 (小林雅丈はちもり代表) 通年商品に格上げ そばは「観光客や登山客 客向けに開発したイカ焼 という。 に傷物で市場に からも評判で季節商品を 「なんとか地元のおいし 食材を全国に届けられ 小林代表は道の い素材なの 出せな

井元気いただきます

SNSや広報において、「#元気いただきます」「#元気エール」 投稿で プロジェクトの広がりにご協力をお願いいたします。

> 農林水産省 maff.go.jp

# プロジェクト

公式ウェブサイト等では、みなさんの投稿をご紹介しています。